

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年02月14日

計画の名称	第2期長崎県における汚水処理及び都市浸水対策の推進(防災・安全)(重点)												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度(2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	佐世保市,大村市,松浦市,南島原市,佐々町												
計画の目標	下水道の整備により、生活環境の改善や、浸水の防除を図るとともに、公共用水域の水質保全や循環型社会の構築などの環境保全を推進する。 また、適切な維持・管理及び、防災・減災対策、経営の効率化を推進し、長期的に継続可能な下水道の実現を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,324	A	1,324	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	下水道による都市浸水対策の達成率を57.4%(H29末)から59.2%(H31末)に向上させる。 下水道による都市浸水対策の達成率(%) 概ね5年に1回程度発生する規模以上の降雨に対する浸水対策 = 都市浸水対策が完了した区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha)	H29末		H31末
		57%	%	59%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	佐世保市	直接	佐世保市	管渠(雨水)	新設	雨水渠等施設整備	雨水渠 L=170m	佐世保市						25	-	
	A07-002	下水道	一般	大村市	直接	大村市	管渠(雨水)	新設	雨水渠等施設整備	雨水渠 L=510m	大村市						264	-	
	A07-003	下水道	一般	松浦市	直接	松浦市	管渠(雨水)	新設	雨水渠等施設整備	雨水渠 L=435m	松浦市						49	-	
	A07-004	下水道	一般	松浦市	直接	松浦市	ポンプ場	新設	雨水ポンプ場整備	丹花1号雨水ポンプ場、丹花2号雨水ポンプ場	松浦市						264	-	
	A07-005	下水道	一般	南島原市	直接	南島原市	ポンプ場	新設	雨水ポンプ場整備	木之崎ポンプ場(48m3/分) 開田ポンプ場(84m3/分)	南島原市						60	-	
	A07-006	下水道	一般	佐々町	直接	佐々町	ポンプ場	新設	雨水ポンプ場整備	大新田第二排水ポンプ場 3.75m3/s(増設)	佐々町						420	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-007	下水道	一般	佐々町	直接	佐々町	管渠(雨水)	新設	雨水渠等施設整備	雨水渠(支線) A=6.8ha	佐々町						40		-	
	A07-008	下水道	一般	佐々町	直接	佐々町	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場改築	長寿命化・改築 小浦雨水ポンプ場	佐々町						202		策定済	
	長寿命化																			
												小計						1,324		
												合計						1,324		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	378				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	378				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	145				
翌年度繰越額 (f)	233				
うち未契約繰越額 (g)	188				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	49.73				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	用地取得に不測の日数を要したため				